

平成24年度
「大学生の力を活用した集落復興支援事業」
活動報告書

公立大学法人 会津大学
「ふくしま」の魅力を発見、世界に発信し隊
平成25年3月19日

目次

I. はじめに

II. 調査概要

III. 集落活性化案

IV. おわりに

V. 謝辞

I. はじめに

私たち、会津大学「“ふくしま”の魅力を発見、世界に発信し隊」は、日本人学生10名、留学生6名の16名ほどで活動しています。私たちは福島県南会津郡南会津町の中小屋集落を担当させていただきました。この中小屋集落は、春になると「福寿草」という花がとても綺麗に咲き、集落の皆さんはその福寿草をととても大切にしています。初めて集落を訪れたときから、集落の皆さんは、「福寿草は中小屋の宝だ」と熱く語ってくださいました。福寿草を始めとして、集落の魅力を発信していくことができると考えております。

- ・ 中小屋集落
- ・ 場所



- ・ 人口

世帯数	15歳未満	15～64歳	65歳以上	人口計
12	0	12	24	男11 女15 合計26名

一人暮らし世帯4世帯、高齢者世帯6世帯

高齢化率 54% (10年後 高齢化率72.41%)

II. 調査概要

1. 参加者の構成

- ・グループ名 「ふくしま」の魅力を発見、世界に発信し隊
- ・グループ代表者名 3年 高木 駿
- ・グループ構成 日本人学生10名, 留学生6名
- ・指導教員名 会津大学国際戦略本部 川口 立喜 先生

2. 活動スケジュール

日時	活動内容
平成24年 8月 6日(月)	集落復興における自治体の取り組みについてヒアリング <福島県地域振興課 担当者>
平成24年 9月 14日(金)	集落復興における自治体の取り組みについてヒアリング <南会津町南郷総合支所総合支援センター>
平成24年10月 14日(日)	第2回 現地調査 中小屋集落 集落散策・状況調査
平成24年10月 28日(日)	第3回 現地調査 中小屋集落 食文化交流
平成24年11月 10日(土)、 平成24年11月 11日(日)	第4回 現地調査 伝統的な生活様式を体験
平成24年12月 8日(土)	第5回 現地調査 個別ヒアリング(歴史、習慣、言葉等)
平成24年12月 21日(金)	福島県知事へ活動報告
平成24年12月 22日(土)	県民討論会参加
平成25年 1月 13日(日)	第6回 現地調査 伝統行事「歳の神」体験
平成25年 2月 16日(土)	第7回 現地調査 餅つき体験、語り部さんによる昔話
平成25年 3月 25日(月)	第8回 中小屋集落の方々を会津大学へ招聘

3. 活動詳細

3.1 集落復興における自治体の取り組みについてヒアリング[福島県地域振興課 担当者]

- ・日 時 平成24年8月6日（月）16時から17時まで
- ・場 所 福島県庁地域振興課
- ・出席者 福島県地域振興課 担当 千代多実子さん
会津大学 学生3名、川口先生
- ・内 容 集落復興における県の取り組みについてヒアリングすることによって、自分たちにできることを明確にする。



3.2 集落復興における自治体の取り組みについてヒアリング〈南郷総合支援センター〉

- ・日 時 平成24年9月14日（金）13時から16時まで
- ・場 所 南郷総合支援センター
- ・出席者 会津大学 学生3名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
南会津地方振興局 新妻主任主査
- ・内 容 集落復興における南会津町の取り組みについてヒアリングすること、自分たちにできることを明確にする。



3.3 第2回 現地調査 中小屋集落 集落散策・状況調査

- ・日 時 平成24年10月14日(日) 13時から18時まで
- ・場 所 中小屋集会所
- ・出席者 中小屋地区 大桃区長ほか11名
会津大学 学生8名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
南会津地方振興局 新妻主任主査
- ・内 容 ・福寿草が咲く現地を回った
・集落の方と事業について意見交換会
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・紹介していただいた福寿草が咲く現地は、とても福寿草が咲きそうなところには思えなかった
 - ・集落のことをもっと教えていただいて、自分たちのできることを考えて行きたいと思った。
 - ・冬に向けた準備が始まっていた。(保存食としてかぼちゃがたくさん収穫されていた。)



3.4 第3回 現地調査 中小屋集落 食文化交流

- ・日 時 平成24年10月28日(日) 10時から16時まで
- ・場 所 中小屋集会所
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか13名
会津大学 学生6名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
南会津地方振興局 新妻主任主査
- ・内 容 1. 昼食づくり
 - ・集落の皆様と学生とで共同作業
 - ・メニューは栗ご飯、キノコ汁、ベトナム料理(鶏肉の生姜炒め、春巻きなど)
 - ・食材の栗やキノコなどは中小屋集落で採れたもの。2. 今後についての発表
 - ・中小屋集落のガイドブックや、Web ページを作ってインターネットなどで発信して行きたいと報告。
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・今と昔のものが共存している集落だなと思う。
 - ・自然が豊かな地域だ。



中小屋地区集落の方との集合写真

3.5 第4回 現地調査 伝統的な生活様式を体験

- ・日 時 平成24年11月10日(土)～11日(日)
- ・場 所 中小屋集会場 等
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか10名以上
(大桃区長はそば打ちから、その他の方は食事会から参加)
会津大学 学生7名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
企画調整部地域振興課 千代主事(10日(土)そば打ちまで)
南会津地方振興局 新妻
- ・内 容
 - 1 地域振興課担当者への報告会
 - ・今後は中小屋の Web ページとガイドブックを作成していきたい。
 - ・集落の皆さんも見ることが可能なように、Web ページを紙媒体でも用意
 - ・季節ごとの旬の食材・花・行事などを紹介したい
 - 2 そば打ち体験
 - ・そば打ちは大桃区長と南郷総合支援センターの馬場主任に教えて頂いた
 - ・そば粉は、中小屋で採れたそばの実から
 - 3 食事会
 - ・メニューは、自分たちで打ったそば、ぼんでいもち、しんごろうもち、熊汁など、集落で採れた野菜を使った料理。
 - ・熊汁の熊肉は集落の方が実際に獲ってきたもの
 - ・熊肉は料理するのがとても難しいらしいが、熊汁はとても美味しかった
 - 4 桜の植樹
 - ・集落の皆様のご好意で桜の苗木を20本ほど植樹
 - ・集落の方が用意してくださった木の札に名前を記入して吊るした
 - ・将来は、南会津の花見山と言っていただけになりたいと仰っていた
- ・感じたこと、発見したこと
 - ・食事会のときに集落のいろいろな人に話を聞いたが、やはり福寿草を本当に大切にしているのだなと思った。
 - ・私達が数年後にまた中小屋集落へ帰って来ることができるよう、と記念植樹をさせていただけでとても嬉しかった。
 - ・テーマパークなどでなく、実際に囲炉裏があるお家を見て、そしてその囲炉裏を使った料理を食べるなど、伝統的な生活を体験させていただけてとても感動した。
 - ・留学生もとても喜んでた。



地域振興課担当者への報告会



そば打ち体験



そば打ち体験



食事会会場となった山本さんの家



しんごろう、ばんでいもち



熊汁



自分たちが打ったそばが夕食に



集落の多くの人が参加してくださいました



集落の方たちとの話合い



桜の苗木の植樹



数年後は南会津の花見山に



札に名前等を記入し、樹に吊るした

3.6 第5回 現地調査 個別ヒアリング（歴史、習慣、言葉等）

- ・日 時 平成24年12月8日（土）13時から18時まで
- ・場 所 大桃区長宅 等
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか4名
会津大学 学生4名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、齋藤集落支援員
南会津地方振興局 新妻主任主査
- ・内 容
 - ・中小屋集落の年間行事・歴史などを聞き取り調査
- ・聞き取りからわかったこと
(大桃区長さんより)
 - ・集落がばらばらにならないためにも、前回のような桜の植樹をはじめ、生きているうちにできることをやりたい。中小屋集落は限界集落であるが、笑顔を絶やさないようにしたい。今までは集落で集まる機会も少なく、集落内で何かに取り組みようと話し合っても、まず実現できないと考えてしまうことが多かったが、大学生が入ってきてくれたおかげで、みんなが集まる機会が増え、活気づいてきた。
 - ・最初は学生に何をやってもらおうかと考え、期待していた。全面的に頼ろうとしていた。でもそれは間違っていると気がついた。大切なことは自分たちで動くこと。学生さんにはそれをサポートしてもらいたい。
(集落最高齢の山本さん（94歳）より)
 - ・昔は集落に100人くらい人がいたが、今は25人くらいしかいない。空き家が増えて子どもがいなくなった。
 - ・お茶飲みの相手もない。お茶のみに行くこともなくなった。



大桃区長宅



集落最高齢山本さん宅

3.7 福島県知事へ活動報告

- ・日 時 平成24年12月21日（金）16時から17時まで
- ・場 所 福島県庁
- ・出席者 大桃区長、会津大学 学生2名、川口先生
- ・内 容
 - ・福島県知事へ今までの活動を報告



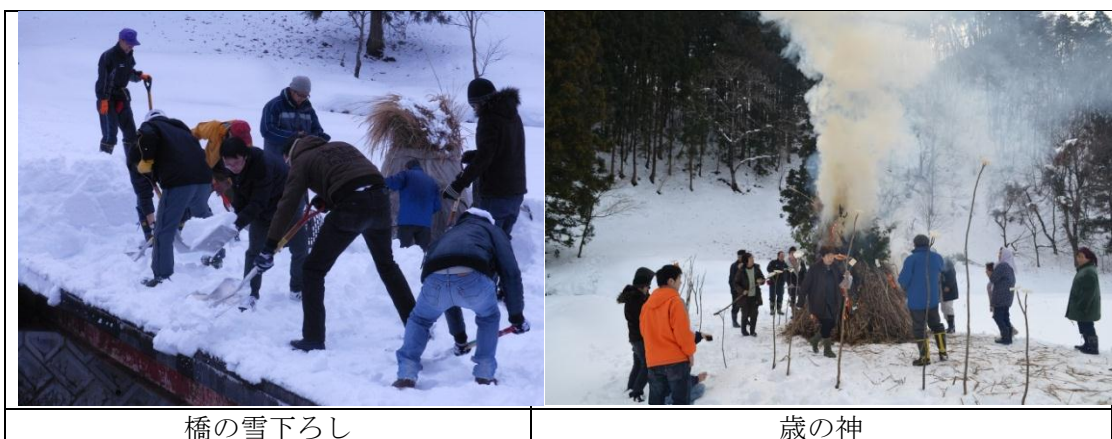
3.8 県民討論会参加

- ・日 時 平成24年12月22日（土）11時から16時まで
- ・場 所 ホテル福島グリーンパレス
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長ほか1名
会津大学 学生5名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
南会津地方振興局 新妻主任主査
- ・内 容
 - ・「大学生による集落復興支援事業」に参加する他のグループとの意見交換会
 - ・親戚ネットワークをはじめ、復興のためのヒントを幾つか得た



3.9 第6回 現地調査 伝統行事「歳の神」体験

- ・日 時 平成25年1月13日（日）10時から19時まで
- ・場 所 中小屋集会所 等
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長など15名程度
会津大学 学生、川口先生 7名
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
南会津地方振興局 新妻主任主査
- ・内 容
 1. 橋の雪片付け
 - ・集落の方と共同作業
 - ・橋の崩落を防ぐために行われていた
 2. 県民討論会の報告
 - ・どのような発表をしてきたか
 - ・他のグループの発表から得た情報についてなど
 3. 歳の神（おんべ）
 - ・中小屋集落では歳の神のことを「おんべ」と言う。
 - ・おんべ は 御幣 から
 - ・今年の無病息災、五穀豊穡を祈る
 - ・餅やするめを焼くなどして食べた
 4. 今後についての打ち合わせ
 - ・活動を継続することが決定
 - ・集落がまとまってきた、学生が来るのを楽しみにしている。
とっていただけた。



3.10 第7回 現地調査 餅つき体験、語り部による昔話

- ・日 時 平成25年2月16日(土) 13時から18時
- ・場 所 中小屋集会場 等
- ・出席者 中小屋集落 大桃区長など15名程度
中小屋集落の方の家族、お孫さんなど10名程度
会津大学 学生9名、川口先生
南会津町南郷総合支援センター 馬場主任、斎藤集落支援員
南会津地方振興局 新妻主任主査

・内 容

1. 餅つき体験
 - ・見たこともないとても大きな臼と杵を使っての餅つき
 - ・学生は餅つき
2. 語り部さんによる昔話
 - ・会津のみしらず柿、雪女、十二支の話を聞いた
 - ・容赦なく方言を使っていたので、日本人でも理解が難しかった
3. 食事会
 - ・つきたてのお餅(きな粉、大根おろし、納豆、お汁、くるみ)
 - ・南会津ではくるみを良く食べられるらしい
 - ・集落の方のお子さんやお孫さんたちも参加してくれた



III. 集落活性化案

中小屋集落には、昔ながらの囲炉裏のあるお宅や、豊かな自然、美味しい郷土料理など魅力的なものがたくさんあります。そのような集落の魅力を世界に発信するため、次のように Web ページを作成したいと考えました。また、1年間中小屋の方々と触れ合う中で中小屋の方がいかに「福寿草」を大切にしているかが分かりました。

やはり集落活性化には福寿草を使わない手はないと思いました。今後は、集落支援ということで、中小屋集落の皆さんも一生懸命に取り組む「福寿草を使った地域づくり」のお手伝いをさせていただけたらと思いました。

1. 中小屋集落の Web ページの作成

この活動が始まってすぐ、インターネットで「中小屋集落」を検索したところ、集落についての情報が全くと言っていいほど情報が出て来ませんでした。集落を復興してゆくためにはまず、「中小屋集落」について知ってもらうためにも、私たち、会津大学生の強みを生かし、中小屋集落の Web ページの作成をしようと決めました。

2. Web ページを作成することによるメリット

- ・ 中小屋集落を知ってもらえる
- ・ 中小屋の魅力を発信することができる
- ・ 今後、何かイベント等を行うことになったときに広報活動・情報発信がしやすい。

3. Web ページに載せる内容

- ・ 中小屋の魅力（福寿草）、中小屋の歴史、伝統
- ・ 中小屋へのアクセス、中小屋での私達の活動 等

4. Web ページのスクリーンショット（次ページ参照）

5. Web ページの利用・管理方法

- ・ 今後もこの活動を継続し、会津大学生が管理
- ・ インターネットに掲載する際は、プライバシーの問題も考え、集落の方に確認してもらう
- ・ このページの原稿を元に、中小屋のガイドブックなども作成・印刷し、紙媒体で配布する（インターネットを利用できない人もいるため）

中小屋地区ウェブサイト：

<http://web-ext.u-aizu.ac.jp/sccp/sccpkawa/TeamNakagoya1/Welcome.html>

[ホーム](#) | [中小屋の魅力](#) | [伝統と歴史](#) | [食文化](#) | [体験](#) | [活動記録](#) | [交通アクセス](#) | [お問い合わせ](#)



ようこそ、**中小屋集落**へ。

福島県南会津郡に位置する魅力的な集落、**中小屋**。

四季折々に成すその美しい景色は、観光客の目をうばいます。

しかし、過疎化に伴う様々な問題を抱えるの今、
大学生の力で何かできないだろうか。

会津大学の日本人学生と**留学生**がチームを組み、
中小屋集落の魅力を発見、世界へ情報発信します。



© 2013 会津大学「ふくしま」の魅力を発見、世界に発信し隊

Powered by FC2.com



右上の写真は冬に訪問した時に出してくれたかぼちゃの煮物。ホクホクでとても甘いかぼちゃに仕上がっていますが、砂糖は使ってないというので驚きです。心があたたまる料理の一つです。



ニシンの麹漬ナ

ニシンを麹につけ、食べるときはそのまま生のまま食べるのが特徴です。生のままですが臭みがなく美味しくいただけます。

鹿の燻製>

猟師さんの手作りの燻製。薪ストーブの煙で燻したら、鹿肉の燻製が出来上がったそうです。味付けはピリからの醤油ベースでお酒のおつまみにもってこいの一品です。



© 2013 会津大学「ふくしま」の魅力を発見、世界に発信し隊

語り継がれる伝統

歳の神

中小屋周辺の地域では「(御幣)おんべ」と呼びます。1月の初めに、無病息災を願い、しめ飾りやお供え物をお焚き上げする伝統的なお祭りです。

このときには、写真のようにお餅やイカを木に刺して焼いて食べさせていただきました。



伝統的な建物

中小屋集落には囲炉裏(いろり)がある御宅があります。実際に、囲炉裏をつかって伝統的な料理を振舞っていただきました。



IV. おわりに

会津大学はコンピュータ理工学の単科大学ということで、集落復興というような活動は専門ではないのでこの事業をしていくにあたり手探りで活動してきたところもありましたが、集落の皆様と何度も話し合っ分ち合い、自分たちに何ができるかということを考えながら活動して来ました。活動は、今はなかなか経験できない昔ながらの生活体験をはじめ、勉強させていただくことばかりでしたが、そんな中で、中小屋集落の皆さんがどのようなことをして集落を盛り上げて行きたいのか、中小屋にとって福寿草がいかに大切な宝なのかということも少しずつ分かってきました。また、集落の皆様には「大学生が来てくれて集落も活気づいた」や「大学生が来るのを楽しみにしている」と言っていただいととても嬉しかったです。来期もこの活動を続けさせていただく予定です。その中で、もっと中小屋の皆様との信頼を築き、もっと中小屋の魅力を発見し、世界へ発信していきたいと思ひます。

V. 謝辞

本活動をするにあたり、ご協力をしていただいた中小屋地区の大桃区長をはじめ、中小屋集落の皆様、南会津町南郷総合支援センター主任 馬場様、同じく南会津町南郷総合支援センター集落支援員 斎藤様、南会津地方振興局主任主査 新妻様、福島県企画調整部地域振興課主事 千代 多実子様へ心から感謝の気持ちと御礼を申し上げます。謝辞にかえさせていただきます。